

エネジン本社にて水害対応訓練を実施しました

中区 エネジンが水害対応訓練

総合エネルギー会社「エネジン」は14日、水害訓練を浜松市中区高林の本社で行った。集中豪雨で本社近くにある社用駐車場が浸水被害に遭う事態を想定し、営業車両など60台を安全な場所に移動する手順を確かめた＝写



真＝。

降雨の中、藤田源右衛門社長をはじめ営業部門の社員ら計26人が参加。各車両を順番に運転し、社用駐車場より数m高い位置にある本社前まで移動した。

社用駐車場が数年前の豪雨で水に漬かった経験から、復旧活動にも欠かせない車両の移動に要する時間や、駐機スペースを把握しようと初めて実践した。

藤田社長は「全国で水害が後を絶たない。ライフラインを支える企業として事業を継続するため、備えを万全にしたい」と話した。

集中豪雨で本社近くの社用車駐車が浸水被害に遭う事態を想定し、水害対応訓練を実施しました。過去に社用駐車が豪雨で水に浸かったこともあり、ライフラインを取り扱う会社として様々な災害を想定し訓練することは、地域のお客様を守るためにも大切なことだと感じます。

今後もいざという時に、地域のために素早く動けるよう訓練し備えていきます。

令和2年(2020年)7月15日(水)

静岡新聞掲載